

日本女性放射線腫瘍医の会助成事業 報告書

京都市立病院 放射線治療科

平田 希美子

この度、JAWRO 助成事業に採択いただき、第 27 回日本乳癌学会学術総会に参加させていただきましたので、ご報告致します。

第 27 回乳癌学会は 7 月 11 日～13 日、新宿の京王プラザホテルと新宿 NS ビルで開催されました。テーマ「乳がん患者の心と身体のケア」と「乳がんゲノム医療と支持医療」の 2 本だてで、学会発表によると参加者は 3 日間を通じて 6400 名だったそうです。

学会に参加し特に印象深かったことを 3 点ご報告します。まずはポスター発表です。ポスター発表は全てデジタルポスターで、発表者は手元のタブレット、聴衆はイヤホン进行操作し発表がなされました。紙のポスターを貼らなくてよいことや発表者の声がクリアに聞こえることなど、大変便利だと感じました。

Meet the Experts では 4 つのテーマのうち 3 つが医師や研究者としてのキャリアに関するものでした。また、このうち 2 つは、「女性の乳腺専門医（腫瘍内科）」「女性の乳腺専門医（乳腺外科）」というテーマで、女性医師の多い学会では学会を挙げてこうしたテーマを取り上げるのか、と驚きました。放射線腫瘍学会ではこうした企画は難しいのかもしれませんが、私にとっては、JAWRO Night や Lunch がキャリアに関する Meet the Experts になっておりとても感謝しております。

そして、シンポジウムでは「乳がん放射線療法における現状と問題点」というセッションがありました。寡分割全乳房照射、手術後断端陰性症例に対するブースト照射、APBI、リンパ節陽性症例に対する PMRT の実施率、N1 症例に対する PMRT など、現在の乳癌放射線療法のトピックスが凝縮された大変勉強になるシンポジウムでした。

最後に私がポスター発表をした内容をご報告致します。当院では乳癌術後患者さんの就労支援の目的で、18 時 30 分まで放射線治療を行っております。就労と治療希望時間について、128 例の乳癌術後の放射線治療患者を対象に検討しました。放射線治療中も就労を継続した患者は 52%でそのうち 3%が 9 時以前、33%が 17 時以降の治療を希望し、97%で希望時間帯に治療を行いました。希望時間に治療を行えなかった 2 例は 9 時以前を希望した症例でした。終業後の 17 時以降だけでなく、就業前の 9 時以前の治療もニーズがあり、こうした希望にも対応できるよう今後検討を進めたいと考えています。

今回、JAWRO の助成により乳癌学会に参加させていただき、乳癌治療に関する多くのことを見聞きすることができました。この場をおかりして深く感謝申し上げます。